

## 全国学力・学習状況調査結果（個人票）の配付について

新涼の候 保護者の皆様にはますます御健勝のこととお喜び申し上げます。

さて、5月に実施しました「全国学力・学習状況調査」の結果が、文部科学省から8月末に届きましたのでお知らせいたします。なお、結果の公表につきましては、文部科学省の「序列化や過度な競争とならないようにするため、平均値等の数値そのものの公表はしない」という方針を受け、数値の公表はいたしませんので、何卒ご理解をお願いいたします。

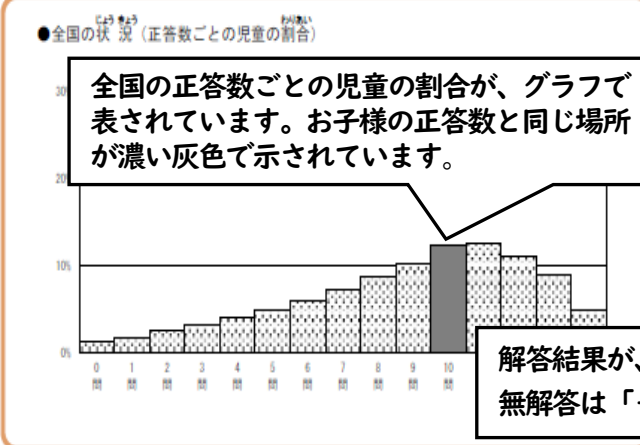
今回の結果は、お子さまの学力の一端を測定したものです。つきましては、得意なこと・不得意なことを個人票の結果から読み取り、今後の家庭学習に生かしていただきたいと思っております。また、保護者の皆様には、子どもたちが学習意欲をもって取り組めるように励ますとともに、環境づくりへのご協力もお願いいたします。

### 1 個人票の見方（ここでは「国語」を例に説明します）

(1)~(3)は「知識・技能」の内容  
A~Cは「思考・判断・表現」の内容

国語	正答数	10 / 14問
	全国の平均正答数	9.0問

学習指導要領	正答数	全国の平均正答数
(1) 言葉の特徴や使い方に関する事項	5 / 6問	4.0 / 6問
(2) 情報の扱い方に関する事項		
(3) 我が国の言語文化に関する事項		
A 話すこと・聞くこと	2 / 3問	2.0 / 3問
B 書くこと	1 / 2問	1.0 / 2問
C 読むこと	2 / 3問	2.0 / 3問



問題形式	正答数	全国の平均正答数
選択式	6 / 8問	5.0 / 8問
短答式	2 / 3問	2.0 / 3問
記述式	2 / 3問	2.0 / 3問

お子様の正答数と全国の平均正答数が示されています。（○/○問）

解答結果が、正解は「○」、誤答は「×」、無解答は「-」で示されています。

出題形式として「選択」「短答」「記述」のいずれかで示している。

問題番号	問題の内容	結果	全国の正答率 (%)	学習学年 ※	学習指導要領の内容			問題形式	
					(1)	(2)	(3)		
1	津田梅子の二つの業績を明確に伝えるための練習で上野さんが話した構成の説明として適切なものを選ぶ	○	71.3	5・6			★		選択
	津田梅子についての【スピーチ】の練習で、〈資料②〉と〈資料③〉を使った理由の説明として適切なものを選ぶ	○	63.6	5・6			★		選択
	津田梅子についての【スピーチ】の練習で適切なものを選ぶ	×	28.9	5・6				★	選択
	面ファスナーに関する【資料】の文章が、何について、どのように書かれているかの説明として適切なものを選ぶ	○	42.1	5・6				★	選択

各問題の全国の正答率が示されています。

各問題の学習した学年が示されています。

各問題の該当する観点項目に、★印がついています。

## 2 本校の学習面の結果概要

(1) 本校の平均正答率と、県及び全国平均正答率との比較

○国語は、すべての出題分類・区分で、大幅に高い数値でした。

○算数は、すべての出題分類・区分で、高い数値でした。

(2) 県及び全国との比較とは別に、本校の児童の「優れている内容」・「不足している内容」

○国語 <優れていると思われる内容> <不足していると思われる内容>

・思考・判断・表現「A 話すこと・聞くこと」 ・思考・判断・表現「B 読むこと」

○算数 <優れていると思われる内容> <不足していると思われる内容>

・「C 変化と関係」 ・「A 数と計算」

■国語は、14問すべて、全国平均正答率より高い数値でした。

<本校の児童の正答率が高い問題>

- ・【言葉の特徴や使い方に関する事項】思考に関わる語句の使い方を理解し、話や文章の中で使う問題
- ・【A 話すこと・聞くこと】目的や意図に応じ、資料を使って話す問題

<本校の児童の正答率が低かった問題>

- ・漢字の書き取りは3問の出題があったが、下線部「つみ重ね」の書き取り問題
- ・『目的を意識して、中心となる語や文を見付けて要約する』記述式（字数制限のある）問題

★ 今後も各学年の漢字学習はドリル学習を通して持続的に取り組んでいく。

★ 説明的な文章を読み、分かったことを、字数を決めてまとめるようにする。

■算数は、16問中14問が、全国平均正答率より高い数値でした。

<本校の児童の正答率が高い問題>

- ・【C 測定】条件に合う時刻を求めることができる問題
- ・【D データの活用】棒グラフから、数量を読み取る問題

<本校の児童の正答率が低い問題>

・二つの道のりの差を求めるために必要な数値を選び、その求め方と答えを記述できる問題

★ 複数のデータを比較し、示された特徴に対する自分の求め方を記述できるようにする。

## 3 本校の児童質問紙の結果概要 ※69問の質問に回答しました。

(1) 本校の児童の割合が高い項目（一部抜粋）

- ・コンピュータなどのICT機器を、他の友達と意見を交換したり、調べたりするために使用しているか。（週1回以上ほぼ毎日）
- ・土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日当たりの勉強時間（学習時間が2時間以上やっている）
- ・新聞を読んでいますか。
- ・いじめは、どんな理由があってもいけないと思いますか。

(2) 本校の児童の割合が低い項目（一部抜粋）

- ・将来の夢や目標を持っていますか。
- ・学級では、学級生活をよりよくするために学級会で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めていますか。

(3) 新型コロナウイルス感染拡大で、学校が休校している期間中に対する項目（一部抜粋）

- ・勉強について不安を感じたか。→（どちらかというと感じていない）
- ・計画的に学習を続けることができたか。→（どちらかといえばできた）

なお、この結果はあくまで「6年生全体の傾向」を表しているものです。家庭の学びの取組や日常生活を見直すきっかけにいただければ幸いです。

★令和3年度全国・学力学習状況調査の結果（概要）は、以下のURLで参照できます。

URL <https://www.nier.go.jp/21chousakekkahoukoku/21summary.pdf>